令和７年度

事　業　報　告

社会福祉法人　　やまなみ会

・特別養護老人ホーム　なでしこの里
・ショートステイ　なでしこの里
・なでしこデイサービスセンター

目　　次

１　はじめに　・・・１

２　各事業　・・・１

（１）特別養護老人ホームなでしこの里

（２）ショートステイなでしこの里

（３）なでしこデイサービスセンター

３　各部署

（１）看護部　・・・３

（２）栄養部　・・・４

４　行事　・・・４

５　研修　・・・５

６　防災訓練　・・・５

７　課題・次年度の提起　・・・５

１．はじめに

高齢化率が産山村では 46%となり、在宅介護が困難となった方々に対して住み慣れた地域で生活が継続できるよう様々なサービスを提供いたしました。特に終末期についてはご家族と協力して看取り支援を行いました。

職員の高齢化や退職等がありましたが、なんとか事業継続が出来るよう特定技能外国人の雇用をし、介護職員の確保を行ってきました。

２，全体の取組

（１）認知症への対応力の向上

①施設内研修で、基礎的な知識や対応について確認を行いました。

②特養の各ユニット会議で、個別の症状に対する対応について定期的に話し合い、支援を行いました。

（２）人材の確保

①特定技能外国人を７名とし、介護職員を確保しました。

②職員の資質向上のため、介護福祉士国家試験に特定技能外国人を含む４名が受験しました。

③介護支援専門員受験資格のある４名が受験しました。

（３）利用者の安全確保・生産性向上の取組

①インカムを１５台導入し、特養の業務中の職員全員が装着して、活用しました。

②特養においてインカムを導入し、職員間の協力・応援体制ができ、利用者の見守りや支援が効率よくできるようになりました。

２．各事業

（１）特別養護老人ホームなでしこの里（定員２９名）

①平均稼働状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
稼働率	94	97	99	100	97	95	95	97	100	100	98	100

年間部屋稼働率　98%　（令和６年度 99%）

②終末期の取り組み

・家族会総会時に看取りについての研修会の実施
・入所時や食事摂取が困難になった利用者のご家族に看取り意向の確認
・看取り委員会や看取りの研修を実施
・看取りについて、嘱託医と情報共有を実施
・嘱託医からご家族への状態説明の場を設け、今後の看取りについての共有

③各ユニットの取組

（ア）うめユニット

・利用者様から３か月に１回、聞き取り調査をおこない、可能な範囲で日々の生活に自分らしさを叶える要望を取り入れた。

（イ）ももユニット

・リビングの机や椅子の配置、居室内の家具配置や模様替えを行い、ご利用者の一人一人

が落ち着いて生活できるよう支援しました。

（ウ）すみれユニット

・利用者の能力や要望に応じた趣味活動やレクリエーション活動の提供、外出行事を取り入れて生きがいのある生活が送れるよう支援しました。

（2）ショートステイ　なでしこの里（定員８名）

①利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ人数	125	125	114	101	114	126	170	180	199	177	117	114

年間利用者延べ人数　1,662 名（令和 6 年度 1,692 名）

②事業所の取組

（ア）入居前と入居後が継続する暮らしへの支援

・利用前に居宅事業所より情報提供を受け状態に応じた居室の配置等行った。

・ご家族に対して、リスクについて説明し書面で同意を頂いた。

・特養の入所待機の利用者に対しては、少しでも安心して生活が送れるように、使い慣れた家具や生活用品を持ち込んでもった。

（イ）感染予防

・受入れ時、感染症が持ち込まれないように体温や体調確認を行った。

・特養でコロナ感染者が発生した時は感染予防対策として同じユニットの方の退所は延期した。

（3）なでしこデイサービスセンター（定員 12 名）

①利用実績

主なご利用者が併設施設の四季の杜入居者であるため、四季の杜の利用者数の影響が大きく、利用者数の増加ができなかった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平均利用１日	7.3	7.7	7.7	7.0	7.2	7.0	6.5	6.6	7.1	7.6	7.6	7.6

年間利用者延べ人数　2,250 名（令和 6 年度 2,370 名）

②事業所の取組

（ア）認知症の予防

・会話する時間を増やし、その際回想法を取り入れた。

・レクレーションを毎日取り入れ実施した。

（イ）生活機能の維持・向上

・LIFE のデータや体力測定結果を活用し、利用者様一人ひとりの心身機能の把握ができた。

・毎回の利用時に体操・機能訓練・生活リハビリを実施し、身体機能維持向上に努めた。

・月 1 回理学療法士に身体機能の確認を実施した。

３．各部署

(1) 看護部

①受診状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
きずな歯科	4	6	6	7	7	7	4	6	5	5	8	6	71
阿蘇ハート	3	2	2	2	2	1	2	5	2	0	0	2	23
やまなみ病院	1	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	3	22
阿蘇医療センタ			1			1		1	1	1			4
安西皮膚科											1		1
セントラル病院		3						1	1				5
大阿蘇 HP 整形	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	14
市原外科		1											1
産山診療所							1	1	1				3
大久保病院											1		1
古嶋眼科		2	2		1								5
合計	9	17	14	11	13	12	10	17	14	8	13	12	150

②入院状況

病名	肺炎	大腿骨骨折	蜂窩織炎	その他
人数	3	3	2	9

＊その他：尿路感染症、他炎症、貧血、イレウス疑い、硬膜下血腫

③主な取組

（ア）感染予防対策の徹底

・利用者、職員の新型コロナ定期予防接種、インフルエンザ予防接種の実施（1 回）

・発熱者に対して、その都度抗原検査等を実施（陽性者１名）

（イ）感染拡大防止対策

・新型コロナ陽性の感染者が１名見られたが、隔離政策と感染対策の徹底により他への感染は見られなかった。

（ウ）健康診断と健康管理

・毎月３回嘱託医の阿蘇ハートクリニック後藤医師による定期診察と健康相談を実施

・年２回８月と３月に血液検査、尿検査等実施し総合判定を嘱託医に依頼。

・胸部 X-P を 10 月に実施

（エ）身体機能の維持向上

・月 2 回理学療法士による指導及び評価を実施。

・機能訓練指導員が歩行訓練や下肢筋力低下予防など実施。

（オ）看取り

・3 名の看取りを実施。

(2) 栄養部

①主な取組

（ア）栄養・給食管理

・個々に合った食事形態での提供を実施した。

(特養：R7.3.31 現在)

食種	常食	粗刻み	小刻み	ソフト	合　計
人数	13	9	3	4	29

(四季の杜・ショート・デイ：R6.3.31 現在)

食種	常食	粗刻み	小刻み	ソフト	合　計
人数	12	1	0	0	20

・個別対応の実施

アレルギーのある方	アレルギー食品の除去・代替提供	1 名
嗜好での対応	肉・魚・卵・豆腐・牛乳の他食材へ変更	16 名
パン食での対応	ご飯・粥（嚥下困難の為）に変更	21 名
揚げ物が食べられない	焼く・煮る等に調理法を変更	0 名

（イ）衛生管理

・チェック表で職員個人の衛生管理の徹底を行った。

・チェック表で食材管理と殺菌消毒や温度管理の徹底を行った。

（ウ）楽しい食事環境作り

・おやつバイキングを１回と昼食バイキングを１回提供した。

・季節を感じてもらうため、行事食を月１回提供した。

・聞き取り調査を行い、利用者の嗜好を取り入れた献立の作成を行った。

４．行事

月	特養・短期入所	デイサービス	全体
4	花見（うめ、すみれ）		高菜折り
5	バラ園見学（もも）、 買い物（うめ、すみれ）	バラ園見学	
6		おやつ作り	地域ボランティア舞踊・歌唱ショー からいも等苗植え・ジャガイモ収穫
7	コスモス苗植え（うめ） 百日草等花植え（すみれ）	買い物外出	梅ちぎり
8	竹田市但馬屋外出（もも）	おやつ作り	
9		買い物外出	敬老会＆納涼祭
11	バラ園見学（すみれ） 山吹水源外出（すみれ）	紅葉見学	からいも等収穫
12			クリスマス会
1	初詣（うめ、すみれ）	初詣	どんどや
2	初詣（もも）		節分豆まき
3			高菜折り、里芋・じゃがいも植え

５．委員会・職員研修

①委員会開催状況

委員会	開催日と開催内容
看取り委員会	7/15、7/28・29 看取り研修
事故防止委員会	5/1、10/23 安全管理対策、R8/3/8
感染防止対策委員会	6/23 食中毒予防研修、R8/1/9 感染予防研修
身体拘束廃止委員会	4/16、R8/3/30
業務環境改善委員会（生産性向上）	6/20、9/19、12/18、R8/3/2
栄養管理委員会	7/15、R8/3/12
排泄委員会	5/26、12/29　R8/1/14、

②施設内外研修

月日	内　容
4/4	デイサービス入浴介助研修
9/12	メンタルヘルス対策講習会
8/6	４大認知症の特徴とケア、看護・医療連携（施設内）
10/28	看護・医療連携、高齢者てんかんのケア（施設内）
9/19	防災セミナー＆展示会
12/17	パーキンソン症候群のケア、認知高齢者の食事ケア、頻尿のケア（施設内）
11/23	福祉レクリエーション研修（施設外）
12/12	介護する人、介護が必要な人の、心身を守る排泄ケア（施設外）
11/25	高齢者施設等の感染対策について
1/14	専門知識を持つ外部講師による排泄ケア講習（施設内）

③資格取得研修

研修名	研修期間	職員
介護福祉士実務者研修	8/3～9/21	4 名
甲種防火管理新規講習	11/19，11/20	2 名

６．防災訓練

6 月 11 日	日中の水害想定の避難訓練
9 月 25 日	地震による火災想定の避難訓練
3 月 17 日	夜間の火災想定の避難訓練

７．課題・次年度の提起

経営安定のためには、デイサービスの利用者の確保が課題である。併設施設の四季の杜の影響が大きいが、地域の要介護者の人数等も増えておらず、産山村全体での需要の把握、サービスの在り方等を考えていく必要がある時期に来ていると思われます。また、特定技能外国人の採用を継続することはもちろん、看護職の採用、介護支援専門員等の資格取得支援を行い、事業が継続できるよう努めていきたい。